



ふかひれ通信

～気仙沼管内の「頑張ってる！」を伝えたい～



平成28年度指定障害福祉サービス事業者等集団指導を開催しました

平成28年8月17日(水)に、当事務所において指定障害福祉サービス事業者等集団指導を開催されました。

この集団指導は、障害を持つ方に対する支援を行っている障害福祉サービス事業所の適正な運営を促すことを目的としております。

気仙沼管内では昨年度から開催しており、2回目となった今回は各種運営基準の説明や各事業所での食中毒予防や感染症対策についての講話を行いました。



支援の際に重要となる食中毒予防や感染症対策については、特に事業者の関心も高く、終了後のアンケートでも参考になったとの意見が寄せられました。

100歳高齢者を訪問しました

9月15日は老人の日、同日から9月21日までは老人週間とされており、期間中は「みんなで築こう 安心と活力ある健康長寿社会」のスローガンの下、様々な敬老行事等が行われました。

当所でも、県の事業として老人週間に、今年度中

(右段に続く)

に新百歳となられる方19名を訪問し、多年にわたり社会の発展に寄与されてきたことへの感謝の念をこめて、国と県からの祝状とお祝い品をお届けに伺いました。



写真は市内在住の菅原雅子様

長寿の理由として食事や水を挙げる方が多く、日頃の生活の大切さをあらためてお教えいただくとともにご家族や介護者などの周囲の方の暖かい支援を感じることができました。

犬のしつけ方教室が開催されます!

平成28年11月6日(日)に階上公民館(気仙沼市長磯船原 20)にて「犬のしつけ方教室」が開催されます。このイベントは、プロの犬の訓練士による実演を交えた講演です。また、若干名ですが、飼い犬と一緒に参加もできるそうです。愛犬の行動について困っているという方や、犬の習性、しつけに興味がある方は、ご家族やご友人を誘って、参加してみたいはいかがでしょうか。



「犬のしつけ方教室」の窓口は気仙沼市環境課(22-3417)です。参加希望や御不明な点については上記の電話番号にお問い合わせ下さい。

コラム 飼うつもりのない猫への餌やりは止めましょう!

猫は愛らしく親しみやすい動物ですが、全国では毎年約8万匹が殺処分されていることをご存じでしょうか。そして、このうち8割以上は所有者不明の猫達です。

猫は非常に繁殖力の強い動物で、一年間に何度も子供を産むことができます。そのため、野良猫に餌付けすると、その場所に猫が増えて、糞尿やゴミ荒らしによる生活環境の悪化やこれらを原因とした近隣住民とのトラブルにつながりかねません。

最後まで責任を持って飼うつもりがなければ、猫への餌付けは止め、望まれない不幸な命を増やさないようにしましょう。



この人に聞きたい!

宮城県気仙沼保健福祉事務所
副所長 戸引 崇

このコーナーでは、管内の保健福祉や環境衛生関係の活動・業務に取り組む方からお話をお聞かせします。

4月に気仙沼保健福祉事務所副所長兼地域保健福祉部長として赴任しました。当地での勤務は、平成8年に赴任し、地方県事務所(当時)で地域づくりや広報などの業務を担当して以来、2度目となります。

震災から5年余が経過する中、当事務所では、被災された方々の生活の支援をはじめ、高齢者などが住み慣れた地域で自分らしく生活できるような地域包括ケア体制の構築、良好な生活環境を保つための環境衛生対策の推進などに重点的に取り組んでいます。

当事務所に求められている要望を的確に把握した上で、より効果的な支援を行っていくためには、気仙沼市や南三陸町との



連携はもちろんのこと、地域の皆様からいただく生の声が非常に重要だと感じています。

当事務所は若手職員が多く、何事にも積極的かつ意欲的にチャレンジする姿勢で業務に取り組んでいます。職員の持てる力を最大限引き出し、当地域の復興・発展に寄与するためにも、皆様からのご指導、ご助言をお願いいたします。

今後も、地域の皆様が笑顔で生き生きと暮らしていけるよう、皆様に身近な保健福祉事務所として、医療・保健・福祉や環境衛生分野での様々な事業遂行や相談対応に励んでまいりますので、よろしく願いいたします。

がん患者と家族への精神的ケアに関する研修会を開催しました

がん患者さんやご家族の精神・心理状況の理解及び療養支援を適切に行っていくために必要な知識を学び、がん患者さんとご家族が地域での療養生活の質の維持

及び向上を図ることを目的として、9月9日(金)にがん患者と家族への精神的ケアに関する研修会を開催しました。気仙沼市立病院の丹野看護師と畠山看護師のお二方からご講義をいただき、がん患者さんとご家族への精神的・心理的ケアについての学びを深める機会となりました。



また、9月は健康増進普及月間です。当所でも、運動・食事・喫煙など生活習慣の改善の重要性について皆様のご理解を深めていただくことを目的として、所内でポスター掲示等の取り組みを行いました。

『救急フェア-2016-』を開催しました

9月10日(土)イオン気仙沼店で『救急フェア-2016-』を開催しました。

毎年9月9日は「救急の日」とされており、救急の日を含む前後1週間は救急医療週間(今年度は9月4日~10日)として、全国において救急医療に関する取り組みが展開されております。

本イベントは救急医療への正しい理解と普及啓発を図るため、イオン気仙沼店の協力を得て、関係機関と共催で毎年実施しています。

今年は、東陵高校と本吉響高校の生徒2名が1日救急隊長に就任し、消防本部の救急救命士の指導を受けながら、AEDを使用した心肺蘇生法などを学びました。



また、ホヤぼーややオクトパス君、みやぎ消太くんも参加し、1日救急隊長とともに救急医療や応急手当の啓発活動、心肺蘇生法の実技講習を実施しました。

そのほか、消防車両等の展示や記念撮影、献血、保健師による健康相談を行い、多くの方々にご参加いただきました。

✿ 編集後記 ✿

猛暑も鳴りを潜め、最近では涼しい日々が続いていますが、季節の変わり目は体調を崩しやすいので、皆様、体調に気を付けて日々をお過ごしください。

(次号は11月発行予定です。)

↓ご感想・ご意見等としどしお寄せ下さい!↓

担当：気仙沼保健福祉事務所広報委員会

電話：0226-22-6661

メール：fukahire@pref.miyagi.jp